

HOT NEWS

雲仙復興事務所

平成23年8月8日

～雲仙噴火災害を後世に伝えるために～
水無川上流の上木場農業研修所跡、定点付近などの保存
について現地で意見を交換しました。

発信元

雲仙復興事務所
調査・品質確保課長 前田 昭浩

雲仙復興事務所では水無川上流砂防指定地利活用ワーキンググループを8月3日(水)に行いました。水無川上流の北上木場地区は20年前の平成3年に火砕流災害を受けた場所であり、北上木場農業研修所跡周辺、定点周辺、災害で埋まった清水川、柿の木坂などが災害当時のまま残っている部分もあり、災害当時の生活の様子などを思い起こさせる地域となっています。

参加者は災害当時、現地周辺にお住まいだった地元住民の方6名、長崎県島原振興局、島原市、雲仙復興事務所の職員14名、計20名で現地で意見交換を行いました。雲仙噴火災害への地元の方の思いを風化させることなく後世に伝えるために、北上木場地区をどのような状態で残していくのかに関して様々な意見が出るとともに、北上木場農業研修所跡では災害を説明する看板などが必要である、などの意見が出ました。

今後は今回のワーキンググループで出た意見を基に将来の維持管理、整備実施の主体などについて具体的に検討を行っていく予定です。

